

左マージン 15mm

上辺マージン 25mm

ヘッダ区分線

A-00

電子情報通信学会九州支部学生会講演会の原稿執筆のしおり

論文番号
14pt Times New Roman

著者名
12pt 明朝

1行アケ

井手大介*, 淡野公一**

論文タイトル
14pt ゴシック

著者所属
10pt 明朝体

(*○○大学大学院工学研究科, **○○大学工学部)

1行アケ

1. はじめに

このしおりは、電子情報通信学会九州支部学生会講演会の原稿を執筆する際の注意事項について示している。これらを満たしていない場合、論文集に収録される論文が、執筆者の期待した通りにならない可能性がある。以下を熟読し、これらを満たすように執筆されたい。

2. 原稿の書式について

本文見出し
10pt ゴシック体

以下の書式を守り、予稿の作成をすること。

1. 原稿用紙サイズはA4 (210mm×297mm) 1ページで作成すること。
2. 使用言語は日本語および英語とする。
3. マージンを上辺25mm以上、下辺15mm以上、左右15mm以上設けること。
4. 本しおりを参考に、1行目に論文のタイトル、2行目に著者氏名、3行目に著者の所属を1段組みで書く。その下に本文を2段組みで書くこと。
5. 本しおりを参考に、タイトルの前の部分に論文番号を書き込むこと(論文番号については次章で説明する)。
6. 各書体は以下の書式を用いること。
 - ・ヘッダ 10pt ゴシック系フォント
 - ・論文番号 14pt Times New Roman
 - ・論文タイトル 14pt ゴシック系フォント
 - ・著者 12pt 明朝系フォント
 - ・著者の所属 10pt 明朝系フォント
 - ・本文の見出し 10pt ゴシック系フォント
 - ・本文 9pt 明朝系フォント
- ※ゴシック系フォントはBIZ UDゴシック
明朝系はBIZ UD明朝 Mediumを推奨
Windows10以降は標準インストールされている
7. 図や写真には、それらの下に図の通し番号と説明を加えること(例えば、図1出力波形)。
8. 表に関しては、その上に部分に通し番号と説明を加えること。
9. 数式も見やすい大ききで書き、通し番号を付すこと。
10. ページ番号は記入しないこと。
11. このしおりを参考に、ヘッダ(2022年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会・講演論文集)を書き込み、区分線を入れること。
12. 最終的な提出フォーマットはPDF形式であるので(詳しくは4章で述べる)、PDF形式に変換後に以上の書式をチェックすること。
13. その他、原稿の本文および参考文献のスタイルについては、基本的に電子情報通信学会論文集に準じるものとする。

本文
9pt 明朝体

3. 論文番号について

申込受付期間終了後に公式サイトに掲載されるプログラムにて、各自論文番号を確認すること。個別での通知は

おこなわない。この論文番号をタイトルの先頭部分に書き込むこととなる。

4. 原稿の提出について

原稿の提出は原稿投稿期間(8月8日～8月22日)の間に、WEBを通してファイルで提出することとなる。受付可能なファイル等については以下の通りである。

1. ファイル形式はPDF形式のみである。
2. PDF作成時には、必ず全てのフォントを埋め込むこと(埋め込んでない場合、期待どおりの表示とならない可能性がある)。
3. ファイルロック等のセキュリティを外してPDFを作成すること。
4. 提出時のファイル名は、論文番号(全て半角英数大文字)とし、拡張子を付加すること。例えば、このしおりの場合、A-00.pdfとなる。

5. 連絡先について

原稿執筆、プログラム、論文番号に関する質問は、以下まで。

【論文担当】E-mail: ronbun@kyushu.ieice.org

6mm以上のスペース

1段 25文字程度

参考文献

- [1]井手大介,梶原巧,淡野公一,田村宏樹,外山貴子,“適応バイアス線形OTAを用いた複素バンドパスフィルタの設計と解析,”2006年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会論文集,A-12,p.6,2006年9月。

右マージン 15mm

下マージン 15mm